

上湧別学園



11/
7

歌を通した対話で合唱指導

チューリップ応援大使の半崎美子さんが特別授業

上湧別学園、ゆうべつ学園の5年生、芭露学園5・6年生を対象に、昨年度から小学校音楽の教科書に採用されている半崎さんの楽曲「地球へ」の合唱指導が行われました。

事前に合唱練習を行ってきた児童たちは、歌詞の内容について半崎さんと一緒に考え、感じ方を話し合いました。

授業の終わりには「春を受け継ぐチューリップ」を児童たちと歌い、「この曲の歌詞にある「若きつぼみたち」とは、まさにみなさんの事です」とメッセージを送り、授業を締めくくりました。

11/
8

響き渡る歌声

明日を拓くコンサート 2025

このコンサートは、「ゆうべつ活性化実行委員会」が主催し、町民にもなじみ深い「春を受け継ぐチューリップ」をはじめとする半崎美子さんの歌をぜひ聞いてほしいと、地域を盛り上げるために企画されたものです。

コンサートでは小学校の教科書にも掲載された「地球へ」や読売新聞とのコラボ楽曲「人生案内と私」など全13曲が披露され、半崎さんがピアノの弾き語りやウクレレを演奏しながら歌う場面もあり、満席となった会場全体に半崎さんの思いの込められた歌声が響き、観客たちを魅了しました。

文化センターTOM



ステージを占いブース、研修室をワークショップブースとして活用するなど、フロアを増設するほどの規模に

文化センターTOM



来年度は第50回記念講座として、多彩な講師陣を招いて開講される予定です

文化センターさざ波



11/
16

冬のあったかマルシェ「ふゆまる。」

過去最大規模で開催

実行委員会（代表 細川佐和さん）主催による雑貨店などが集結したイベント「ふゆまる。」が開催されました。

今回で13回目となる恒例のイベントには、ハンドメイド作品や物販、キッチンカー、マッサージ、ワークショップ、占いなど、過去最大となる70店舗が参加しました。また、駐車場にはキッチンカーが並び、来場者が思い思いの料理を手にし、ロビーは多くの人で賑わいを見せっていました。

来場者からは「ずっと前から楽しみにしていました」といった声が聞かれるなど、地域に根付いたおなじみのイベントとして定着しています。

11/
21

ヒグマはなぜ人里に出没するのか

湧別町民大学が最終回

北海道大学大学院獣医学研究科の坪田敏男教授を講師に迎え、講演が行われました。坪田教授は、野生動物、特に熊類の繁殖と生態に関する研究を専門としています。

講演では、ヒグマの糞分析や、最新技術であるGPSやヒグマ目線のカメラを用いた研究結果をもとに、季節ごとのヒグマの食性や行動が紹介されました。また、里山の消滅によるヒグマの「人馴れ」が進んでいることや、個体数が増加している現状も取り上げられました。

11/
21

湧別町の魅力を再発見 ふるさと観光教育の授業

総合的な学習の授業で、名桜大学の寺本潔特任教授を招いた「ふるさと観光教育」の授業が行われました。

この授業は自然や文化、観光産業などの教育資源を活用することにより、地域についての理解を深め、郷土に対する愛着や誇りを育むことを目的に開催されたものです。

湧別町の魅力や地域の特色をグループごとにワークシートに書き出し、町外から湧別町に観光で訪れる人が何を求める、どうすれば楽しく過ごしてもらえるかを話し合いました。

ゆうべつ学園



地域への理解を深めながら、あらためて自分たちのふるさと湧別町の魅力を発見していました

上湧別学園



「身近にない楽器に触ることができて、うれしかった」と話し、貴重な経験ができた様子でした

11/
25

日本の伝統音楽に触れる 上湧別学園で和楽器出前講座

三曲協会（谷藤 彌会長）による「和楽器出前授業」が開催されました。三曲協会は日本の伝統的な楽器である箏、三味線、尺八の三種の楽器の愛好家たちが集まり、遠軽町を中心に活動している団体です。

谷藤会長から楽器の紹介があると、初めて見る楽器に子どもたちは興味津々。全校生徒で演奏に合わせて歌を歌い、楽器の奏でる多彩な音と一体となって楽しみました。

また、8・9年生は各楽器で演奏に挑戦。少しずつ音を出せるようになると笑顔があふれていきました。

11/
29

一夜限りのゆうべつ屋台 屋台でないと！？開催

湧別町内の飲食店が特別メニューを提供する商工会主催イベント「屋台でないと！？」が開催されました。

今回で8回目を迎えたこのイベントでは、町内飲食店の一品料理を楽しむため、たくさんの方々が来場。

焼き鳥やザンギ、クレープなど、地域の飲食店の自慢の料理が並び、来場者はその味を堪能しました。また、会場ではバルーンアートやテーブルマジック、各テーブルを回りながらのサックス演奏パフォーマンスや、はずれなしの抽選会も実施され、会場は家族連れを中心に大勢の来場者で賑わいました。

商工会横特設会場



テーブルを囲みながら楽しいひとときを過ごしました

11/
30

東京湧別会 第16回総会・懇親会開催

湧別町出身者の親睦団体「東京湧別会」（後藤義英会長）の第16回総会・懇親会が東京都内で開催されました。関東圏に住む約80人が出席。来賓として加藤町長、阿部湧別漁業協同組合長、橋本湧別町商工会長らが出席しました。

後藤会長が湧別産のホタテなど水産物のPRをしたのをはじめ東京湧別会の魅力を高めて新規会員を増やしたいと述べました。加藤町長は町長就任の挨拶をするとともに「（東京湧別会の皆さまが）ふるさとに帰省したいと思える街づくりをしたい」と抱負を語りました。

東京都



懇親会では、ふるさと湧別の話題で交流を深めました





文化センターTOM



親子でふれあう時間の大切さやものづくりの楽しさを実感することができました

文化センターTOM



湧高PRブースや探究学習のポスター掲示もあり、湧高を町の皆さんに知っていただける素晴らしい機会となりました

中湧別総合体育館



決勝戦では、両チーム粘りのあるプレーを見せ、長いラリーが続くレベルの高い試合になりました

役場上湧別庁舎応接室



毎年、新鮮でおいしい玉ねぎをありがとうございます

11/
30

親子でふれあう大切さを実感
湧別町家庭教育研修会

家庭教育に関心のある人たちが集い学ぶ機会として、教育委員会主催の家庭教育研修会が開催されました。研修会は講話と親子木工教室の2部構成で実施。12組の親子が参加しました。

前半はICT関連に造詣が深い(株)イワイの岩井孝浩さんを講師に、「インターネットと安心してつきあうために」をテーマにした講話が行われました。

後半は、(株)柴田建設従業員の皆さん指導のもと、親子で3段ラックを製作する木工教室が行われました。

12/
6

冬もみんなで楽しもう
湧別高校生企画のイベント冬湧樂

昨年に引き続き2回目の開催となったこのイベントは、総合的な探究の授業の「未来計画」の中で考案され、「イベントの少ない冬の期間に、地域の交流の場を作ろう」と企画されました。

会場では、ヨーヨー釣りや射的ができる「こども縁日」のほか、お菓子まき、ラグビーやシャボン玉の体験ができるブースなどが用意され、参加した子どもたちは笑顔で楽しんでいて、企画運営した高校生たちも充実感に満ち溢っていました。

12/
7

第50回記念
町民300歳バレー ボール大会

「第50回記念大会 町民300歳バレー ボール大会」が開催され、各自治会から6チーム、約90人の選手が参加。出場選手の年齢の合計が300歳以上になるよう構成されたメンバーで、この大会に向け練習を重ねた各チームは抜群の団結力をを見せました。

優勝した「錦町・登栄床チーム」、残念ながら負けてしまった各チーム、普段はなかなか顔を合わせることのない方々も、これまで以上に自治会の結束が深まる1日となりました。

12/
10

今年もおいしい玉ねぎをありがとうございます
上湧別玉葱振興会が玉ねぎ2,000kgを寄贈

上湧別玉葱振興会の三品雅敏会長より、町と湧別福祉会に対し玉ねぎを寄贈いただきました。

加藤町長は「地元産品の寄贈は大変ありがたい。大切に使わせていただきます」とお礼を述べました。

寄贈いただいた玉ねぎは各認定こども園や保育所、各学園の給食用として子どもたちに振る舞われるほか、湧愛園やオホーツク園など福祉施設の食材として活用されます。

全国の舞台で湧別町民が活躍

◆2025(第31回)日本管楽合奏コンテスト全国大会

(11/9 : 東京都)

湧別町立上湧別学園・ゆうべつ学園合同バンド 優秀賞・フォトライフ賞

予選審査を通過し、全国大会へ進出。優秀賞を受賞しました。

また、コンテスト全体を盛り上げる貢献をした団体に贈られるフォトライフ賞も受賞するなど、全国の舞台で実力を発揮しました。



◆第14回日本学校合奏コンクール2025全国大会グランドコンテスト

(11/15 : 千葉県)



◆第45回東日本中学生ラグビーフットボール大会・ラグビースクールの部 兼第31回全国ジュニアラグビーフットボール大会

(11/15-16 : 栃木県)

北海道ラグビースクール代表として 第9位

佐藤 太陽 (上湧別学園 9年)

北海道内のラグビースクールから選抜されたメンバーとして数多くの選考合宿に参加し、実力と努力が評価され北海道代表選手に選出されました。

代表チームではキャプテンに任命され、チームをまとめる役割を果たし、全国大会ではトライを決めるなど活躍しました。

湧別高校吹奏楽団 優秀賞

昨年に引き続き全国大会に出場しました。結果は惜しくも目標としていた最優秀賞を逃しましたが、全員が全力で楽しみ、想いを込めた演奏を披露しました。



◆第44回全日本小学生バンドフェスティバル フロア部門



(11/22 : 大阪府)

上湧別学園金管バンド 銅賞

第44回 (2025) 北海道小学生バンドフェスティバルで金賞を受賞し、北海道代表として出場しました。

過去に全国大会の出場経験もある中湧別小学校金管バンドに上湧別、富美、開盛のメンバーも加わりました。上湧別学園金管バンドとして開校1年目での全国大会出場となり、新たな歴史を刻みました。



イベント・行事スケジュール

12月25日から2月20日までに行われるイベントや行事をお知らせします。



12月27日(土)	百人一首教室 (13:00 上湧別農村環境改善センター)
1月 5日(月)	湧別町消防団出初式 (10:00 文化センターさざ波)
6日(火)	ジュニアスケート教室 (13:30 芭露スケートリンク) ~8日
7日(水)	運動・トレーニング教室「ゆうふいと。プラス」(18:30 湧別総合体育館)
10日(土)	百人一首教室 (13:00 上湧別農村環境改善センター)
11日(日)	令和8年「20歳の集い」(13:30 文化センターさざ波)
14日(水)	運動・トレーニング教室「ゆうふいと。」(10:00 湧別総合体育館)
17日(土)	わくわく体験塾「氷下釣り」(9:00 芭露川) 百人一首教室 (13:00 上湧別農村環境改善センター)
18日(日)	新春交歓カルタ大会 (9:00 上湧別農村環境改善センター)
20日(火)	チューリップ生きがい大学「映画鑑賞会」(10:00 文化センターさざ波)
21日(水)	運動・トレーニング教室「ゆうふいと。」(14:00 湧別総合体育館)
24日(土)	チャレンジスポーツスクール「スケート教室・氷上ホッケー」(10:00 芭露スケートリンク)
25日(日)	eスポーツ大会「湧別e-Sportsフェスタ」(10:00 文化センターさざ波)
28日(水)	運動・トレーニング教室「ゆうふいと。」(10:00 湧別総合体育館)
31日(土)	湧別町スケート大会 (9:00 芭露スケートリンク)
2月14日(土)	チャレンジスポーツスクール「バドミントン」(10:00 湧別総合体育館)
15日(日)	ONEOR8「ママごと」公演 (14:00 文化センターさざ波)
18日(水)	運動・トレーニング教室「ゆうふいと。」(14:00 湧別総合体育館) 運動・トレーニング教室「ゆうふいと。プラス」(18:30 湧別総合体育館)

長年にわたり町議会を支えられた議員お二人が退任されました

村田一志さん、酒井純一さんに町感謝状を贈呈

長きにわたり湧別町議会議員としてご活躍され、11月14日をもって退任された村田一志さん(富美)、酒井純一さん(中湧別中町)に、町から感謝状が贈呈されました。

お二人は、平成25年から3期12年にわたり湧別町議会の議員として在任され、町行政の発展にご尽力いただきました。また、村田さんは令和3年から議長として議会の要職を務められました。

加藤町長より、「長年にわたり行政の発展にご尽力いただき、ありがとうございました」とお礼が述べられ、感謝状が手渡されました。



村田一志さん



酒井純一さん

選挙管理委員が決まりました

任期満了にともない、11月21日の町議会臨時会において湧別町選挙管理委員会委員に次の4人が指名推選されました。任期は11月25日から4年間です。

- ・高橋 直司さん(上湧別屯田市街地)
- ・佐藤 敏正さん(北兵村一区)
- ・西原沙智恵さん(上芭露)
- ・近藤 優子さん(上湧別屯田市街地)



高橋直司さん



佐藤敏正さん



西原沙智恵さん



近藤優子さん

教育委員に 中川悠一さんを任命しました

任期満了にともなう湧別町教育委員会委員に中川悠一さん(北兵村一区)が任命されました。

中川さんの任期は12月1日から4年間です。



監査委員が決まりました

任期満了にともなう湧別町監査委員に水野豊さん(北兵村三区)と竹林直人さん(上湧別屯田市街地)が選任されました。

水野さんは、識見を有する方として選ばれた監査委員で、任期は11月25日から4年間です。

竹林さんは、議會議員から選ばれた監査委員で、任期は議會議員の任期(令和11年11月14日まで)です。



水野 豊さん



竹林直人さん



「緑の募金」運動

ご協力ありがとうございました

湧別町げんきの森活動委員会が実施していました「緑の募金」運動は、遠軽地区森林組合様、湧別漁業協同組合様のほか上湧別学園、ゆうべつ学園、芭露学園にご協力いただき、多くの皆さまからの温かいお気持ちとともに、総額40,873円の募金をお寄せいただきました。



※「緑の募金」は、昭和25年から続いている運動で、花壇整備や植樹活動、森林学習などの緑化運動に活用されています。